シェイクスピア原作『ザ・テンペスト』による

新作能「あらし」

宗片邦義作（2019.6）

Noh: The Tempest

By MUNAKATA Kuniyoshi

The Tempest is the last play Shakespeare wrote in its entirety. Hazlitt called *The Tempest* one of the most original and perfect of Shakespeare's productions. *Noh: The Tempest* attempts to explore as a Noh play Shakespeare's final views on human conditions, their societies, and the works of great Nature.

［構想］シェイクスピアひとりの筆になる最後の作とされるこのロマンス劇もしくは悲喜劇から、彼の最終的な人間観や世界観・宇宙観また演劇観を伺い、簡潔に表現する。能形式にこだわらず、能の初心者にも分かり易く楽しめる台本制作・演出をモットーとする。

所・・・いずことも知れぬ孤島
時・・・一六世紀
曲柄・・四番目（現在物）
所要時間・・一時間

登場人物

シテ・・プロスペロー（ミラノ公国の正統な君主。十二年前、弟に公国を追われ、以後たどり着いた孤島に娘と共に住む。魔法の法衣・杖あり）

ツレ・・ミランダ（プロスペローの純真無垢な娘。十四歳）
ツレ・・エアリエル（空気の精。人の目に見えず自由に飛び回る。美声）
ツレ・・ファーディナンド（ナポリ王子。大あらしで孤島に漂着し、ミランダを見初める）
間（アイ）狂言・ゴンザーロー（ナポリ王の老顧問官。清廉潔白の士。プロスペローを尊敬）
地謡（三・四名）・囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）

前場（大あらしとその直後）

［冒頭、突如、笛ト大鼓ニヨル雷鳴・稲妻ヲ伴ウ猛烈ナ「あらし」。ヤガテ橋掛リニ、シテ（プロスペロー）トツレ（ミランダ）現レ、舞台上ノ「あらし」ヲ見テ問答。囃子十分抑エ］

ミランダ（詞）「スラリ」お父上（ちちうえ）。海上に荒れ狂う」あのあらしが。お父上の」魔法の力によるものなら。早く」鎮（しず）めてくださいませ。お船が海に」飲み込まれてしまいそう。あのような見事な」お船には。定（さだ）めし立派なお方が」お乗りのはず

プロスペロー「サラリ」娘よ」心配は無用。すべて手筈（てはず）は」整（ととの）えてあり

ミラ「スラリ」私に」神の力ありせば。あの荒海を大地に」沈めてしまいますものを　**［再ビ「あらし」。ヤガテ鎮マリ］**

プロ「サラリ」娘よすべては」お前のため。お前は私が」何者かを知らず。

それを知らせる時来たるぞよ　　「真はわれはミラノ公爵。
この岩屋の主にはあらず

拍合・ツヨ・ウケテ
地　「ミラノ公国の君主たり。民の真の幸せは。仁徳による
政治。人民の模範たるべく。学問芸術。哲学宗教天文研究。
されば政治の実際は。すべて弟に任せたり　**地**　「その
信頼が仇となり。弟・彼が権力を笠に着て。彼が任命せる
役人解任。おのれが腹心任官させ。正に独裁者。偽りをも真
と民を欺き。終にはナポリ王と陰謀計り。彼をミラノより
追放せる

詞
プロ　「わしはお前と」二人きり。小船に」乗せられ。辿りつき
しが」この孤島。お前はまだ」三歳にもならず

ミラ　「お父上には」私の為に。どんなにか」ご苦労を。想えば
涙が」こぼれまする　**プロ**　「幸いナポリ王の顧問官」ゴン**ザ**
ーロー殿が。わしが身の回りの物と」秘蔵の書物を。秘かに
船に」乗せてくれ　　**ミラ**　「何と優しい」お方

不合・ツヨ
地　「それより巡りし十二年。秘術の研究実りたれば。この大

あらし。弟一味とナポリ王を。この孤島におびき寄せたり

プロ（詞）「されどこれは」復讐にはあらず。目に見えぬ」因果の法則。大自然の」理法なり。それいずれまた」話すべし。いまはこれにて」お休みなさい　　**［ミランダ眠ル］**

地（次第ヨワ・閑カニ）「　朝な夕なの枕辺に。朝な夕なの枕辺に。真実の世界の現れてまし　**プロ**（詞）「目に見えぬ」空気の精霊。エアリエル」現れよ　**［エアリエル橋掛リヨリ走りクル］**

エアリエル（スラリ）「」ご主人様。いかなる御用も」御意のまま。雲に乗り風に乗り」飛び回りまする。火の精・水の精」共々に

プロ（サラリ）「すべてわが命令を」果たせるか　**エア**（スラリ）「ひとつ」残らず。雷鳴・稲妻・猛り狂う」大あらし。海神が」驚くほどに

プロ「だが船上の人々は　**エア**「」一人残らず安泰。ナポリ王子は」ただ一人。島の外れに」引き離し　**プロ**（確リ）「」よくやった。されば」ナポリ王子にわが娘を」見初めさせんとよ

［ミランダヲ舞台中央ニ残シ、プロスペロートエアリエル、地謡前ヘ控エル］　**［ヤガテ笛ト小鼓、静カナ妙ナル音楽。橋掛リニ、ファーディナンド現レル。エアリエル謡ウ］**

エア（ヨワ・シメヤカニ）「　そなたの父は海の底。五尋の深い海底に。骨は珊瑚に。

目は真珠に変えられて。ひとつも朽ちるものはなく。海の女神の力にて。すべて宝物に変えられたり。海の精霊。弔いの鐘。ディンドンベール。ディンドンベール

ファーデイナンド（詞）「（心持シ）あの」美しい音楽は。空からまたは」大地から。この島の」神に捧げる音楽か。わが父ナポリ王の」死を嘆く。わが悲しみを」鎮めてくれる。この世のものとは」思われぬ

プロ「娘よ目を覚まして」あれを見よ　**［ミランダ目ヲ覚マス］**

ミラ「（スラリ）あれは妖精かしら」立派なお姿　**プロ**「あれは先ほどの難破船上の」人間の一人よ　**ミラ**「（気ヲ込メ）いえ」神様に見えまする。人間があれほど」気高く見えるとは　**ファ**「（ウケテ）あの美しい」音楽は　**［ミランダニ気付キ］**あの女神に捧げる」音楽か

［舞台ニ入リ］　あなたはこの」島のお方ですか。人間の」娘ですか。」不思議なお方　**ミラ**「不思議の者にはありませず」人間の娘です　**ファ**「私は」ナポリ王の息子。父王」亡くなり。今はナポリ」最高の身分の者　**ミラ**「あなたは私がお慕いする」初めてのお方　**ファ**「それが」真なら。わがナポリの」王妃にお迎え致したく　**プロ**「（サラリ）二人とも一目見て」たちまち目と目を交わしおった　**［シテ、立チ上ガリ］**　「（不合・ツヨ）いや待て。そはわ

が娘。娘はわが宝なるぞ

地　「手軽に得たる宝をは。人は手軽に扱うもの。そなたには
まだ試練あり。若者よ。先ずは働くべし。その力を見せ給へ。
愛・献身・忍耐・努力。誠実さの試練あり

プロ「使命ある者に試練あり　**地**「使命ある者に試練あり

［プロスペロー、ミランダ、ファーディナンド、橋掛リへ］

地　「日に一度。あの娘の顔が見れるなら。いかなる試練も辛
からず。日に一度。あの娘の顔が見れるなら。いかなる試練
も辛からず

［中入り

間（アイ）**語り**

アイ（ゴンザーロー）「これはナポリ王の顧問官にて、ゴンザーロ
ーと申します。先ほどのあらしに至るまでの顛末を、お話し
致したく存じまする。

ミラノ公国のプロスペロー公爵は、その国民を慈しむこと、
わがナポリにまでも聞こえしなり。君主に徳あれば民これに
倣うと。学問芸術・天文宗教秘術の研究にまで没頭され。政務
はすべて弟君に任せられた。ところがこの信頼が仇になった
のでございます。

弟君は次第に独裁者となり、自ら君主たらんとわがナポリ
王と結託し。兄上プロスペロー殿を未だ三歳にもならぬ一人

娘と二人だけ帆船に乗せ、さる港より出航させてしまわれた。私はその時お二人の身の回りの物と秘術の本を、秘かに船に乗せるのが精いっぱいでございました。

幸い船はこの孤島に漂着。以後プロスペロー殿は十二年間、この孤島にて姫君と生き永らえられた。否それどころか長年研究されたる秘術により、空気や水や大地の精霊を巧みに操り、さらには半人半獣の獰猛なる怪物たちをも手なづけられ、かくして十二年目に、あらしを呼び起こし、弟君とナポリ王とをこの孤島におびき寄せ、船を難破せられたという次第。しかしこれは復讐にてはあらず、その秘術により知りえたる自然の法則、即ちミラノへ帰ることを神の御心と思召され、またその為にナポリ王子を娘に出会わせられた。私が思うにプロスペロー殿の秘術とは、天地の律法すなわち目に見えぬ大自然または宇宙の法則、それを会得せられたものと存じまする。

以上、プロスペロー殿を深く尊敬申し上げます私の、これまで知り得ましたおおよそのことを申し上げさせていただきました。長話をお聞きくださり有難うございました。

【狂言座へ、マタハ入ル

後場

【プロスペロー、ミランダ、ファーディナンド、エアリエル登場】

プロ「過酷なる」試練は。そなたの愛情の深さと」誠実さを試す

もの。」よくぞ耐えたり。「されば(カカル)わが宝を遣(つか)わさん

地(クリ・タップリ)「天が寿(ことほ)ぐ聖なる婚礼(こんれい)。邪(よこしま)なる行(おこな)いは許されず。結(むす)びの神の御心(みこころ)に従い。聖なる結婚の楽しみを。欲情により乱すはならず

ファ(サシ)「わが夢は。平和なる日々と頼(たの)もしき子孫さらに長命。生涯この愛情を持ち続けます

地(クセ・引立テサラリ)「それぞ誓いの言葉。自(みずか)らの誓いの言葉に背(そむ)くはならず

プロ「されば(カカル)エアリエル。妖精たちを呼び給え

エア(引立テ)「大空の妃(きさき)よ。七色(なないろ)の虹のアイリスよ。豊穣(ほうじょう)の女神(めがみ)よ。もろもろの精霊たちよ。いざ来れ。聖なる結婚に祝福を

プロ「さあさあ皆々謡い給え。舞い給え　**[囃子]**

ファ(神妙ニ)「これは奇跡(きせき)か。夢か現(うつつ)か幻(まぼろし)か

[ファーデイナンドトミランダ、祝言ノ相舞、ヤヤ短カメ。囃子止メ]

プロ(詞)(確リメニ)「よくできたるぞ」妖精たちよ。よしよしこれにて」消え失せよ　「驚(カエテ)きたるか」息子と娘よ。あの妖精たちはみな大気の中に」溶けてしまいたるよ

合・ヨワ・シンミリかたち
地　「形ある。この世のすべては。形あるこの世のすべては。
いずれも溶けて消え失せる。この世のすべては夢幻。人間の。
人間のささやかなる一生は。眠りによりて。眠りによりて輪
を閉じる　［囃子止ミ］

詞
プロ　気ヲ変エ
「さて難破せるナポリ王とわが」弟は　**エア**　スラリ「一つ所にて」
身動きできず。」悲嘆にくれ。激しく前非を」悔いておりまする

プロ　カカル
「愚かなる者よ。汝の名は悪人なり

合・ツヨ
地　「（愚かなる者よ。汝の名は悪人なり。）おのれのために他人
を殺さんと企てし。人道に悖る罪。（運命の神は忘れはせず。
昔犯せる大罪が。今やその身を蝕まん。自ら蒔きし種なれば。
自らそれを刈り穫るべし。因果応報。）悪因悪果。良心の呵責
に苦しむべし　「　カエテ・タップリさいわ　幸いなるかな　かの悲劇。恐怖の海も。
真実は慈悲の海なりし。あらしは試練のあらしなりし

プロ　確リ
「悔いたる者はすべて」放免すべし

地　「赦しは和解の始めなる。復讐に勝る気高き行為

詞
プロ　ウケテ確リ
「されば わしはわが公国」に帰らんか　「エアリエルよ

そなたもこれにて」自由の身なれ

[突如、ゴンザーロー、プロスペローノ前ニ出]

ゴンザ　抑エテ閑カニ「　されば身共も共に」自由の身となり申したく

プロ　サラリ「ゴンザーロー殿。ナポリ王の顧問官。わが命の」恩人

よ。そなたの云われる自由の身とは」いかなるものぞ

ゴンザ　閑カニ、確リ「　もしもわれもしも自由の身」なりせば。われこの

孤島に」残らんか　カカル「もしもわれ。この孤島の主なりせば。

すべての営み逆さまに。すべての営み逆さまに

語リ「先ずお金をはじめ金銀宝石をすべて」無価値に致します。

私有財産を持つものは」悪徳をなせる証拠。個人の繁栄にて

はなく」公共の繁栄。」コモンウエルス。皆の幸福を追求しま

す　カカル「利己主義者はすべて投獄。労働に従事。貧者もなけれ

ば長者もなし　語リ「万人に生涯の」豊かな生活を保障します

気ヲ込メタップリ「　戦争戦闘野獣的行為。一切禁止。他国との同盟すべ

て不要　語リ「人間本来友愛精神」これぞ最も強固な同盟。自然

の情」正義と公正。　友　愛精神

プロ「さて」食糧は　**ゴンザ**「食物は自然の恵みに手を加えず

も」五穀豊穣　「人はみな男も女も純真無垢

地「　天地自然に逆らわず。ゆくゆくは法律無用。地上の

天国。さらに来世の幸せを願うなり

ミ ラ「それこそ素晴らしき新世界。美しきかな人間。真の

素晴らしき新世界　**プロ**「さればゴンザーロー殿。わが故国」

ミラノにて。さらにそなたのユートーピアを」語らんか

キリ

地「またはまたは。汝ひとりを孤島に残し。われらは

故国へ帰るべきや。汝ひとりを孤島に残し。われらは故国

へ帰るべきや　**プロ**「さればされば。われはこれにて。

魔法の杖折り。大地に埋め　**地**「　秘術の書物は海底に

沈め。法衣を脱ぎ捨て。いざや故国へ帰らなん。いざや故

国へ帰らんや。民待つ故国へ　「民待つ故国へ帰らばや。

民待つ故国へ帰らばや。民待つ故国へ帰りなん。民待つ故国へ帰りなん

［プロスペローヲ先頭ニ入ル。
（後カラ、ゴンザーロー入ル）

※本稿は、2018年8月作の「新作能　大あらし」について一部改稿したものである。作者の意向により差し替えた。
（編集子）